

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第 67 号 (2012. 09. 30)
事務局川西地区自主防災会

綾川町の防災・減災への取組みをお聞きしました！

今月号から県内の市、町の紹介と合せて、首長さんへのインタビューを交えて、防災への取り組みなどを紹介させていただきます。

まずご登場いただいたのは、全国首長の中で最高齢町長の綾川町の町長、藤井賢さんです。

綾川町のご紹介

香川県のほぼ中央に位置し、平成 18 年 3 月 21 日に綾上町と綾南町が合併して誕生しました。南部には山林が広がり、北部は小山に囲まれた起伏の多い丘陵地で形成されています。

人口 25,249 人
面積 109.67k m²
高齢化率 29%
主産業(産業構造) 第 1 次 12.4%
第 2 次 26.0%
第 3 次 61.3%
主要観光資源 滝宮神宮など
自主防災会結成率(カバー率) 31%
自主防災会組織数 134
防災への取組み



9 月 地域防災リーダー育成セミナー(講演会)
11 月 全町的な防災訓練
避難所に衛星携帯電話を配備(来年度以降も順次防災備品を配備予定)
自主防災組織に防災資機材を配布(食料についても H24 より追加)

藤井町長のインタビュー

(1)このまちのキーワード又は、好きな言葉をお願いします。

好きな言葉はあまりありませんが、弘法大師・空海の考え方とか心を大切にしています。

又、880 年から 4 年間、国司として滞在された菅原道真公のお心、わずか 4 年という間に香川県の干ばつから農民を救ったことは偉大で、7 日 7 晩城山でお祈りされ下山したとき農民がおどって喜んだのが現在の念佛おどりの始まりと言われています。私も小さい時から念佛おどりを見ているすが拝むという気持ちで接しています。



菅原道真公への思いは深く、正月の参拝者(滝宮天満宮)は、約 7 万人と多くの方がお参りに来ていただいています。私は、空海さんと菅原道真公の心の広さを学んで生かしていきたいと思っています。

(2)このまちをどのような「まち」にしたいとお考えでしょうか？

昔、この地域に久保太郎右衛門という地主がいて、山田から3里18丁の水路を作り、自分の資産を提供して立派な水田を作られました。私は小学生時代、先生に連れられこの久保さんの墓参りにも伺いました。この久保太郎右衛門さんのように「人間の献身性」や「社会に貢献する」ことが大切だと思っています。

綾川町の町長室を玄関から入ったところに設け、何時も扉を開いているのは“住民のための住民の政治”を行うためであって、更には公用車にはいつも助手席に乗っており、それは住民の姿がよく見えて声もかけられるからです。住民に気さくに心使いのこもった言葉をかけるのが町長の心と思っており人に優しいまちづくりを目指したいと願っています。



(3)早くから政治の道にはいつていられますが、何歳位に気づきがあって、どのような理由からでしょうか？

私が幼少の頃の話ですが、私の父親は働き者で小作ではありますが1町以上耕作、そのうち2反が自分の取り分、残りが地主の取り分となっており、地主さんの所へ年貢を納めに行ったことがあります。地主さんの母屋に入った途端、その子供、草履をぬがんと強い口調で言われました。地主と小作の関係（あいさつ、言葉使い）は、厳しいというのを体験させられ、19歳のとき琴平町の公会堂で行われた、農民運動に初めて参画するきっかけとなりました。



この運動は、宮脇朝男さんが号令をかけて香川県全体の大会でもありました。これ以来電車の中でもお会いしたら気に留めていただき大事にしていただきました。宮脇さんは、デンマークへ行かれ農協組織などについて学び、日本全国に広めて行かれました。この農民運動に参画したことによって多くの人を知ることができました。善通寺の高田さん、飯山町の大西さん、大林さんとも交友が広がり、おかげで私にも幅広い見識ができた

ものと感謝しています。

議員は28歳から5年間綾南町議、その後県議を6期やらせていただきました。こんなことで、本来しないといけない田んぼをすべて親父と家内に任せきりでした。

(4)綾川町は、どちらかといえば県内でも自然災害の少ない地理条件を備えていると思いますが「防災にかける思い」をお教えてください。

綾川町は香川県の丁度まん中にあたり、その目印となる石があり山野の広がりがあるため非常に住みやすいまちです。

防災面に関しては、海岸線も心配だが県内に1万4000をこえるため池もあって、両面に亘って対策が必要でしょうと県知事の浜田さんに進言させていただきました。綾川町のため池の中で、山下池は高所にあつて周囲がすべて堤防で成り立っており、この池の防災対策も検討させていますが、更に上流域のため池決壊によって将棋の駒を倒すような事象も考えられるので、ため池をベースとした防災対策（計画）を立てるよう指示をしています。



(5) 全国一の最高齢首長となりましたが、かくしゃくたるエネルギー源は何でしょうか？

全国一番の高齢者首長になったのは、新聞社の取材によって知らされました。まさかと思っていましたが・・・



この年齢（83歳）まで元気に仕事ができるのは、毎朝行っている柔軟体操、それも体に生ゴムを巻いて1時間行っていることがエネルギー源です。この体操によって体がとても柔らかくなり、両ひざに簡単に頭がつくくらいです。この体操の後、朝風呂に入って朝食をとることにしています。

食事については、近所に住む弟のお嫁さんが、納豆、山芋、お汁類などを中心に健康面に気を使った食べ物を用意してくれてたいへん助かっています。

このほか、元中国の首相であった唐家璇（トウカセン）氏との40日間の思い出話や日本社会党委員長であった成田知己さん、元香川県知事前川忠夫さん、元参議員前川担さんとの出会いや共に活動してきたお話をなつかしく伺わせていただきました。

インタビューを終えて

約45分間にわたってお話を伺いましたが、非常に優しい口調で終始笑顔で接していただきました。「人の心」を大切にするソフトな町政を感じることができました。
(岩崎正朔)

お詫び

前号の号数に誤りがありました事をお詫びいたします。
正しくは第66号です。

事務局だより

平成24年 9月

かがわ自主ぼうの最近の活動を紹介します。

香川県総合防災訓練に参加して

今年で7回目の参加となりました香川県の防災訓練、三木町と合同開催のため、県が企業団地として開発した高松東ファクトリーパーク内で9月2日（日）に実施された。

前日（9月1日）に準備作業のため5名、訓練当日は30名が参加しました。資機材展示のため、午前6時30分に軽トラック7台でもってコミュニティセンターを出発、高速道路を7台つらねての走行は、川西パワーそのもので、自主防災会でこれほどのパワーをもった組織はないだろうと思いつつ運転をしておりました。

訓練では、三木町自主防災組織252名と三木町小学生児童80名を5班に分けて「かがわ自主ぼう」として参加していただいた「高松太田南チーム」と「川西チーム」が訓練指導にあたりました。

① 土のうチーム



② 担架組立チーム



③ ロープ投チーム



④ バケツリレーチーム



⑤ 避難所設営チーム



以上5チームに分かれて、三木町の皆様（自主ぼう、小学生児童）に防災の基本ワザについて、ご指導申し上げた。

このほかに「防災資機材」と「東北支援活動パネル」の展示を行いました。資機材については、自主防災会でも頑張ればこの位は整備できるというPRも含めた意味もあります。巡視された県知事さんからも「訓練」と「展示」双方にネギライのお言葉をいただき、参加者一同感激しているところです。

編集後記

今月の防災減災の輪は、全国首長の中で最高齢町長の綾川町の町長、藤井賢氏のインタビューを掲載しております。ご協力誠にありがとうございました。

お知らせⅠ

防災香川2012「100万人の防災シンポジウム」が下記のとおり開催されますのでお知らせします。入場無料です。

- 日時：10月14日（日）午後1時30分～4時30分（開場：1時）
- 場所：かがわ国際会議場（高松市サンポート）
- 主催：四国新聞社 共催：香川県
- 内容：
 - 基調講演① 山村武彦氏（防災システム研究所所長）
「“近助”の精神と防災隣組でつくる災害に強いまち」
 - 基調講演② 菊池保夫氏（岩手県遠野市総務部長）
「遠野市の沿岸被災地後方支援～「縁」が結ぶ復興への『絆』～」
 - パネルディスカッション
「東日本大震災に学ぶ、防災・物資輸送の拠点としての香川の役割」
・パネリスト 岩崎正朔氏（川西地区自主防災会会長）、菊池保夫氏
伊勢野正憲氏（香川県危機管理総局長）
・コーディネーター 白木渡氏（香川大学危機管理研究センター長）
- 申込：はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上
〒760-8572（住所不要）四国新聞社広告局「防災シンポジウム」係へ
 - FAX（087-833-8993）又はE-MAIL（koukoku4@shikoku-np.co.jp）
でも受付可。
 - 締め切り（10/8（月）必着）後、入場整理券が送付される予定です。
- 問い合わせ：四国新聞社広告局
（087-833-1180 平日午前9時30分～午後5時30分）

お知らせⅡ

県では、このたび、各自主防災組織等の訓練に活用いただくことを目的に「AEDトレーナーセット」を整備し、訓練の際に貸出することといたしました。



（問い合わせ先）

- ・ 県庁危機管理課 危機管理G 087-832-3242
- ・ 川西地区自主防災会 0877-28-5519

※各5セットずつ配置しています。ご活用ください。